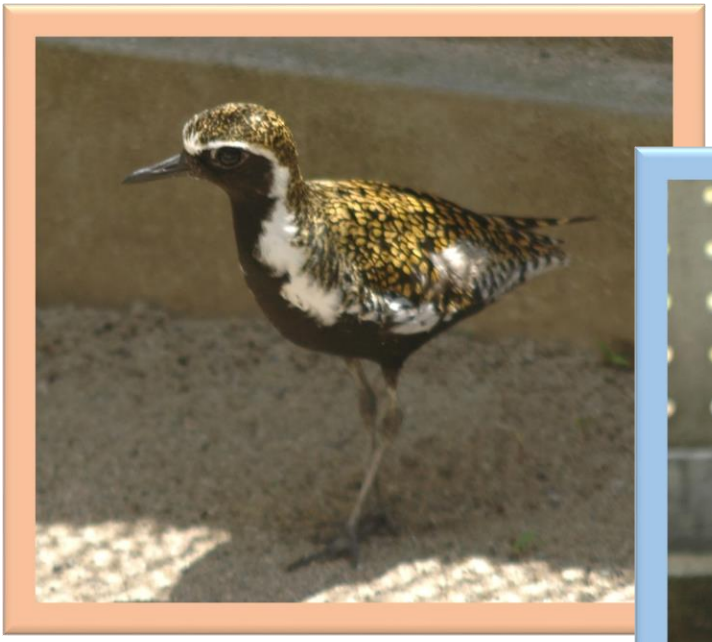
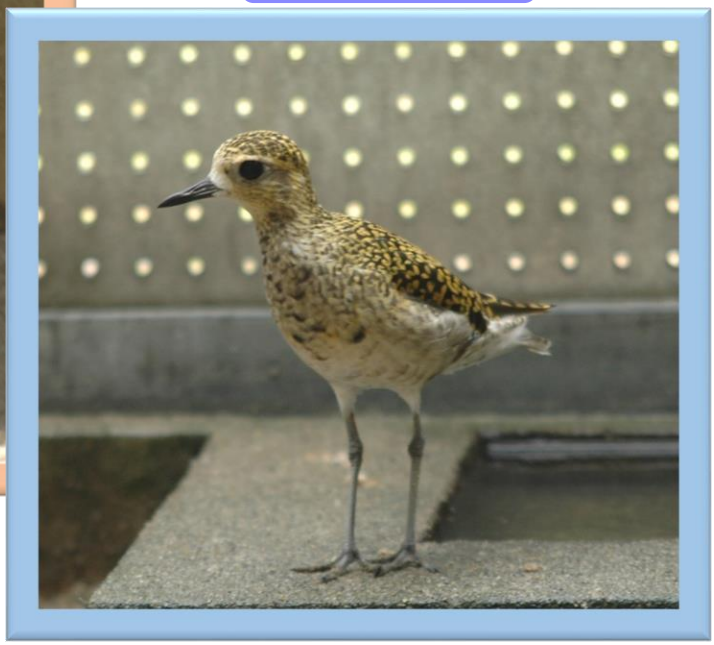
新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里機関紙　　令和４年 10 月１日発行

シジュウカラ　第 102 号



夏羽

冬羽へ換羽中



もくじ

1 ページ　・ムナグロの変身
2 ページ　・くちばしの折れたコハクチョウの話
3 ページ　・イベント案内（11～3 月）
　　・イベント報告（4～8 月）
4 ページ　・傷病鳥獣の収容状況（4 月～7 月）
　　・愛鳥センター利用案内

ホームページもチェックしてね

愛鳥センターＨＰ
ＱＲコード

表紙の写真

別の鳥のような見た目ですが、１ 羽のムナグロの異なるの季節の姿です。ムナグロは夏羽と冬羽で別人（鳥）のように変身します。

ムナグロは、春・秋の渡り途中に日本に立ち寄る鳥なので、野外観察で羽色の変化を追うことは難しいかもしれません。飼育舎にいる個体は一年を通しての変化を連続的に見ることができるので、換羽がいつ頃からどのように進んでいくのかを見ることができます。

来館した際には飼育舎にいる鳥たちのそのような部分にも注目してみてください。

くちばしの折れたコハクチョウの話

収容されたときは幼鳥でした。

2020 年 11 月に胎内市で保護されたコハクチョウの幼鳥は、上下のくちばしが半分ほどの部分から折れて、舌が出ている状態でした。原因はわかりませんが、何かに挟まってしまって強い力がかかったのではと推測しています。

当初、生存は厳しいように思いましたが、良い意味で予想を裏切り、与えた餌を自力で食べ、飼育舎で生活できるようになりました。

次の年、羽の色も幼鳥のグレーから成鳥の白い色に換わり、くちばしも黒と黄色になりました。折れた断面はくちばしのさやの部分が拡大して覆うようにふさがりました。

ひとつ通常のコハクチョウと違ったのは、換羽して成鳥の羽になったときに全身が白い羽にならず、新しく生えた羽にも、部分的にグレーの羽が混じっていたことです。くちばしが折れていることと関連があるのかはわかりませんが、興味深いことでした。

今後の変化も追いたいところでしたが、残念ながら今年の 6 月に死亡しました。収容から 1 年半ほどもの間、よく頑張って生きてくれました。

解剖を行ったところ、性別はオスであることがわかりました。死因ははっきりとはしませんが、心臓または肺の疾患で亡くなったようでした。

タライから
えさを食べているところ

成鳥になりました。
なぜか頭にグレーの羽が混じります。
葉っぱをあげるとよく食べていました。

今年もまたハクチョウが渡ってくる時期になりました。

今年の夏はヨーロッパで過去最大規模の鳥インフルエンザの発生が起き、海鳥を中心として野鳥が大量死したという心配なニュースがありました。昨シーズンには渡りの中継地でツルのなかまが大量死したというニュースもありました。

農林水産省も、この秋以降国内でも発生するおそれが高いとして、対策の徹底を呼びかけています。

冬は水辺の鳥の観察に出かける人も多いでしょう。

水辺では知らず知らずのうちに水鳥のフンを踏んでいることがあります。過度に恐れる必要はありませんが、もしウイルスを靴の裏に着けたまま他の場所へと移動したら、バードウォッチャーが感染源を広めてしまう可能性もあります。野鳥観察を安全に楽しみ、野鳥を守るためにも、いつもより少し気をつけて靴の裏を消毒するなどの個人でできる対策をしてもらえたらと思います。

また餌付けも、鳥を狭い範囲に集めてしまうこと、人と鳥の距離が近くなることでリスクがあります。鳥も含め、野生動物との距離を適切に保って、過度に接触しないこともとても大切です。

11月～3月イベント案内

イベントはすべて申込みが必要です。参加費は無料です。
感染症の影響等により内容が変更または中止になる可能性がありますので、HP 等で最新の情報を確認してください。

探鳥会・観察会(申込受付 11/1～)

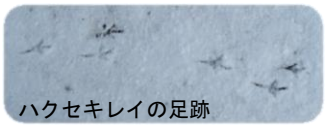
・初心者探鳥会

日時：12 月 11 日(日)　9:00～11:00
場所：弁天潟　定員：15 名
集合：弁天潟風致公園駐車場

コハクチョウ

・足跡ウォッチング

日時：1 月 22 日(日)　9:00～11:00
場所：愛鳥センター
定員：20 名


ハクセキレイの足跡

・お幕場大池探鳥会

日時：3 月 5 日(日)　9:00～11:00
場所：お幕場大池(村上市)　定員：20 名

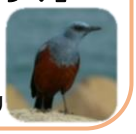
愛鳥講演会(申込受付 10/15～)

テーマは「海岸の鳥」
日時：11 月 23 日(水・祝) 13:00～15:30
会場：県立生涯学習推進センター 1 階ホール
　　新潟市中央区女池南 3-1-2
定員： 95 名（要申込）
参加費：無料

ウミガラス

演題 1 「ウミガラスってどんな生き物？」
講師　マリンピア日本海　丹治 陶子 氏

演題 2 「イソヒヨドリは海岸でどうくらす？」
講師　長岡市立科学博物館　鳥居 憲親 氏


イソヒヨドリ

野鳥保護の集い(瓢湖)

開催予定日：令和 5 年 2 月 12 日(日)
開催時間、会場、定員、内容、申込み開始日等は未定です。
決定次第、HP、Facebook 等でお知らせします。

申込み：住所・氏名・電話番号・年齢を明記して、電話、はがき、FAX、E-mail でお申し込みください。講演会はホームページ電子申請でも申込みできます。

特別展

●令和 5 年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール新潟県大会入賞作品展
　令和 4 年 9/23(金)～10/23(日)
●冬季特別展「ホネくらべ」 令和 4 年 11/5(土)～令和 5 年 2/12(日)
　様々な種類の鳥の様々な部分の骨の違い、哺乳類、両生類など別の分類の生き物との違いを比べ、骨を知って鳥を内側から見る企画展です。

4月～8月イベント報告

◎初心者探鳥会 ① ②
日時：①4/23(土)　②5/1(日)　9:00～10:30
場所：愛鳥センター　参加者：①12 名　②13名
観察種：①16 種　②12種

◎めざせ！鳥類調査員鳥の鳴き声勉強会
日時：4/24(日)9:00～11:00
場所:愛鳥センター 参加者:6 名

◎愛鳥週間探鳥会
日時：5/8(日)　6:30～9:00
場所：大峰山寺沢林道(新発田市)
参加者：29 名　観察種：28種

オオルリ

◎シギ・チドリ観察会
日時：8/28(日)　7:00～9:00
場所：網代浜(聖籠町)
参加者：19 名　観察種：10 種

トウネン

◎野鳥保護の集い（愛鳥センター）
日時：6/11（土）14:45～16:15
場所：愛鳥センター　参加者：42 名
演題：「雪里松之山の野鳥」
講師：村山　暁　氏

工作教室参加者の作品

◎愛鳥教室「羽のしおり作り」
日時：5/3(火)・5/4(水)・5/5(木)　13:30～15:00
場所：愛鳥センター　参加者：合計 76 名

◎おとな工作教室「消しゴムはんこでマイ蔵書印作り」
日時：7/3(日)13:30～15:30
場所：愛鳥センター　参加者：3 名

◎工作教室「消しゴムはんこで鳥のはんこ作り」
日時：7/31(日)　13:30～15:00
場所：愛鳥センター　参加者：12 名

◎巣箱作り教室
日時：8/20(土)・21(日)　13:30～16:00
場所：愛鳥センター
参加者：8/20　5 組 11 名　　8/21　5 組 11 名

令和４年４月～７月の傷病鳥獣収容結果

令和4年度　4月～7月の傷病鳥獣収容結果

収容NO.	種類	3月末収容数	収容数	放鳥獣	返還譲渡	死亡	7月末収容数	収容NO.	種類	3月末収容数	収容数	放鳥獣	返還譲渡	死亡	7月末収容数
（鳥類）								20	チョウゲンボウ	4	2	2			4
1	キジ		1			1	0	21	ハヤブサ	1	1	1			1
2	コハクチョウ	11	5	6	2	1	7	22	サンコウチョウ		1			1	0
	オオハクチョウ	1					1	23	ハシボソガラス	2	5	3		1	3
3	カルガモ		9	6		3	0	24	ハシブトガラス		1			1	0
	コガモ	1				1	0	25	シジュウカラ		11	2		9	0
4	キジバト		4	1		3	0	26	ヒバリ		1			1	0
5	アオバト	3	2	1		1	3	27	ツバメ		13			11	2
6	アオサギ		1			1	0	28	イワツバメ		1			1	0
7	クイナ		1			1	0	29	ヒヨドリ		4	1		3	0
8	カッコウ		1	1			0	30	ウグイス		1			1	0
	ムナグロ	1					1	31	センダイムシクイ		4	1		3	0
9	コチドリ		1			1	0	32	ムクドリ		21	9		12	0
10	ウミネコ	2	1			1	2	33	スズメ		25	5		20	0
11	トビ	11	3	3			11	34	ハクセキレイ		2	1		1	0
12	ハイタカ		1			1	0	35	カワラヒワ		2			2	0
13	オオタカ		1				1	36	ホオジロ		5	5			0
14	サシバ	2	2	2			2	37	ドバト		6	4		2	0
	ノスリ	3					3	38	レースバト		1		1		0
	クマタカ	1					1	39	不明		7	1		6	0
15	オオコノハズク		1			1	0	小計		44	156	58	3	95	44
16	コノハズク		1			1	0	（獣類）							
17	フクロウ	1	2	1			2	1	キツネ		1	1			0
18	トラフズク		3	2		1	0	2	ハクビシン		1				1
19	アカショウビン		2			2	0	小計		0	2	1	0	0	1
								合計		44	158	59	3	95	45

令和４年４月１日～７月 31 日までの収容数は、鳥類 39 種 156 羽、獣類２種２頭で、昨年度の同時期（鳥類 142 羽、獣類０頭）と比べ鳥・獣類とも増加した。

利用者数

月	４月	５月	６月	７月	計	累計
来館者数	699	900	548	462	2,609	643,654
相談件数	35	87	98	75	295	－

館内設置のトキ募金箱の報告

令和４年４月～令和４年７月　**4,010円**　　累計　**316,363円**

皆様の善意に深く感謝いたします。今後とも御協力をお願いします。

新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里

開館時間：午前９時～午後４時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

〒957-0231　新発田市藤塚浜海老池

Tel：0254-41-4500　Fax：0254-41-4501

HP：https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/

E-mail：ngt031210@pref.niigata.lg.jp

４月からメールアドレスが変わりました